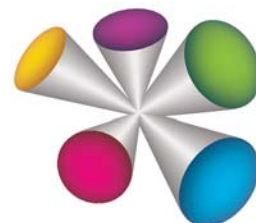
液晶ペンタブレット ユーザーズガイド

モデル：
液晶ペンタブレット DTU-1031

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書（クイックスタートガイドに記載）を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書、納品書、レシート（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書、納品書、レシートの添付もない場合は、保証書が無効になります。

また、本製品の保証は日本国内においてのみ有効です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

Wacom は株式会社ワコムの登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークは表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

液晶ペンタブレット
ユーザーズガイド
Version 1.0, C0413

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。しかしながら、マニュアルがユーザに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。

目次

本書について

本書は DTU-1031 の使い方や機能について説明しています。ナビゲーションボタンまたはハイライトされている文字をクリックすると該当するページに移動できます。本書に記載されている情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に指定のない限り Windows の画面を例にして説明しています。

はじめて本書を使用する場合は本書の使い方をお読みください。

- 目次または索引で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。
- ダイアログボックス、コントロールパネルなどのオプションの名前は、「 」で囲んで表示しています。
- ユーザーズガイドを拡大表示するには、ビューアのズームインツールを使用してください。
- 特定のコンピュータ、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに関する情報は、この製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルをお読みください。
- タブレット機能（筆圧、消しゴム機能など）は、多くのソフトウェアでサポートされています。
機能をサポートするソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください。(製品仕様)
- 特定のソフトウェアでタブレットの機能を最大限に活用する方法に関する情報は、そのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

ワコムは継続的に製品の改善に取り組んでおり、随時技術的な変更や改良を行っています。そのため、タブレットドライバおよび本機の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本書の使い方

本書の中を移動するには、次のボタンやテキストをクリックします。

	表紙へ移動します。
目次	目次のはじめへ移動します。
索引	索引のはじめへ移動します。
	見た順に表示を戻ります。
	ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

Adobe® Reader® には、本書の使用および印刷のための追加的なツールが用意されています。使い方については、Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

本機について

本書は、お買い上げいただいた本機の機能、本機のセットアップ、使い方について説明します。

コントロールパネルで、本機と電子ペンの設定をカスタマイズできます。詳しくは、本機をカスタマイズするをご参照ください。

特定のハードウェア、オペレーティングシステムまたはソフトウェアに関する情報は、本機に付属していません。これらの情報に関しては、ご使用中のハードウェア、オペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。

補足：モデルによっては、同梱する付属品や利用可能な機能が異なる場合があります。

本機に同梱される付属品についての説明は、製品に付属のクイックスタートガイドを参照してください。

本機の機能

本機の各部の名称と機能について説明します。

本体正面

本機の正面は、以下の機能を備えています。ファンクションキーの使い方のファンクションキーのカスタマイズ、機能設定を参照してください。

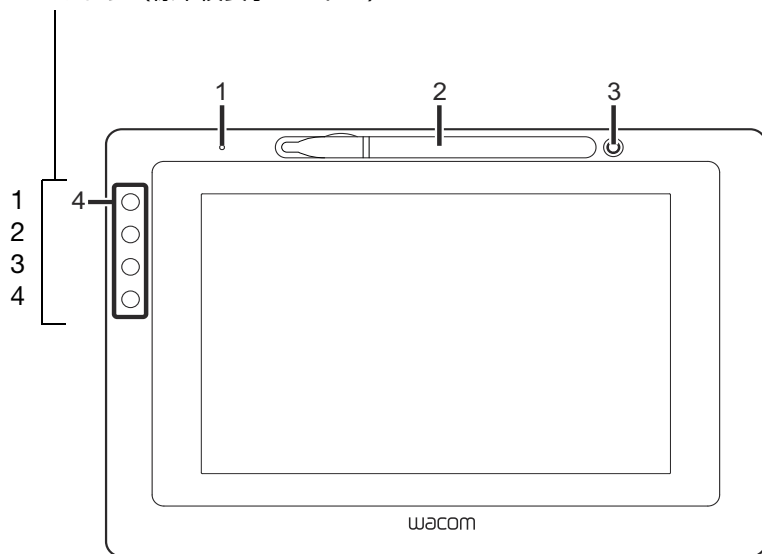
本機は横表示モード・縦表示モードのいずれかで使用することができ、縦・横それぞれ 2 つの向きで使用できます。これらの表示モードは「本機の向きオプション」一覧に示しています。本機の表示を任意の向きに設定する方法については、ハードウェアおよびオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

電子ペンをペンホルダーに格納する場合は、サイドスイッチを上にしてペンの片端をホルダーに挿入し、続いてペンの中央をゆっくりと押し込んでください。このとき、ペン先を傷つけないように注意してください。

ペンホルダーにカバーを付ける際は、ペンをペンホルダーから取り出し、カバーをペンホルダーの上部に合わせ、ゆっくりと押し込んでください。

ペンを取り出すときは、電子ペンのペン先側を押し込むと反対側がホルダーから出てきます。

電子ペンはペンスタンドに立てておいたり、ペン紛失防止ケーブルで本機につないでおくこともできます (ペン紛失防止ケーブル参照)。

ファンクションキーは上から順に
1 ～ 4 とします（標準横表示モードで）

各部の名所

1 – ステータスランプ
2 – ペンホルダー
3 – ペンスタンド
4 – ファンクションキー

本機の向きオプション

- 横（標準）– ファンクションキーが左
- 横反転 – ファンクションキーが右
- 縦 – ファンクションキーが上
- 縦反転 – ファンクションキーが下

本体裏面

本機の裏面は、以下の機能を備えています。

本機の盗難防止のため、セキュリティロック・スロットにセキュリティケーブルを接続できます。

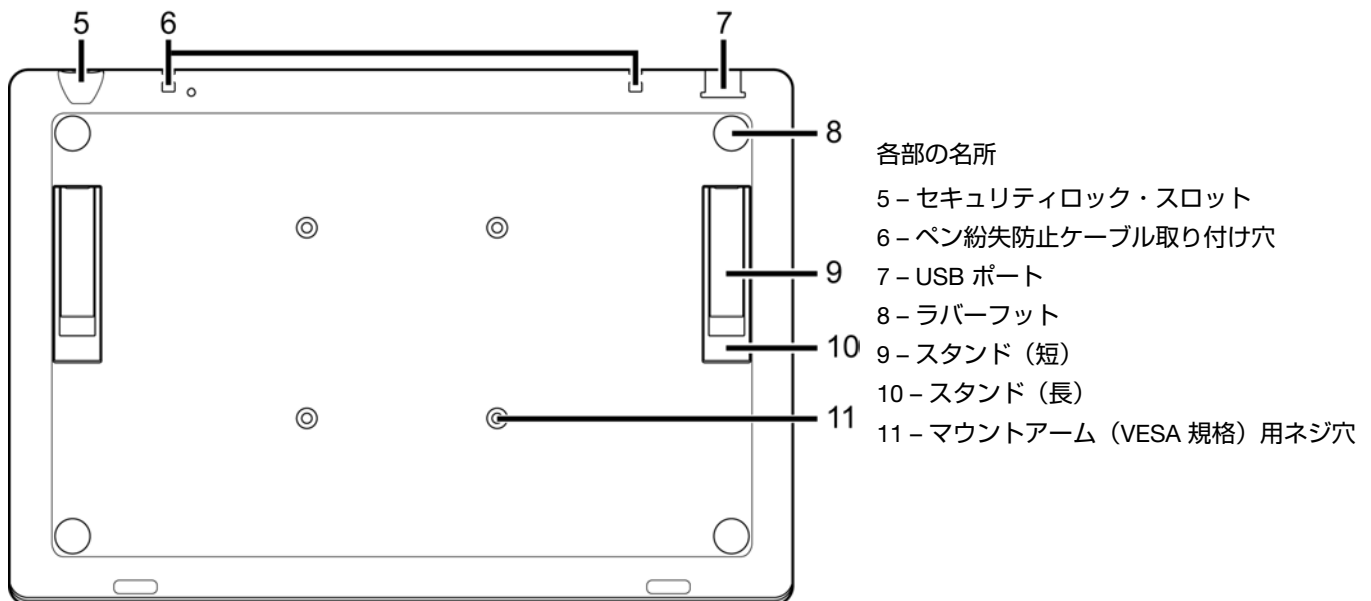
電子ペンは、ペン紛失防止ケーブル取り付け穴にペン紛失防止ケーブルを取り付けて本機につないでおくこともできます (ペン紛失防止ケーブル参照)。

USB ポートは DTU-1031 をコンピュータに接続する際に使用します。ステップ 2：ペンタブレットのセットアップを参照してください。

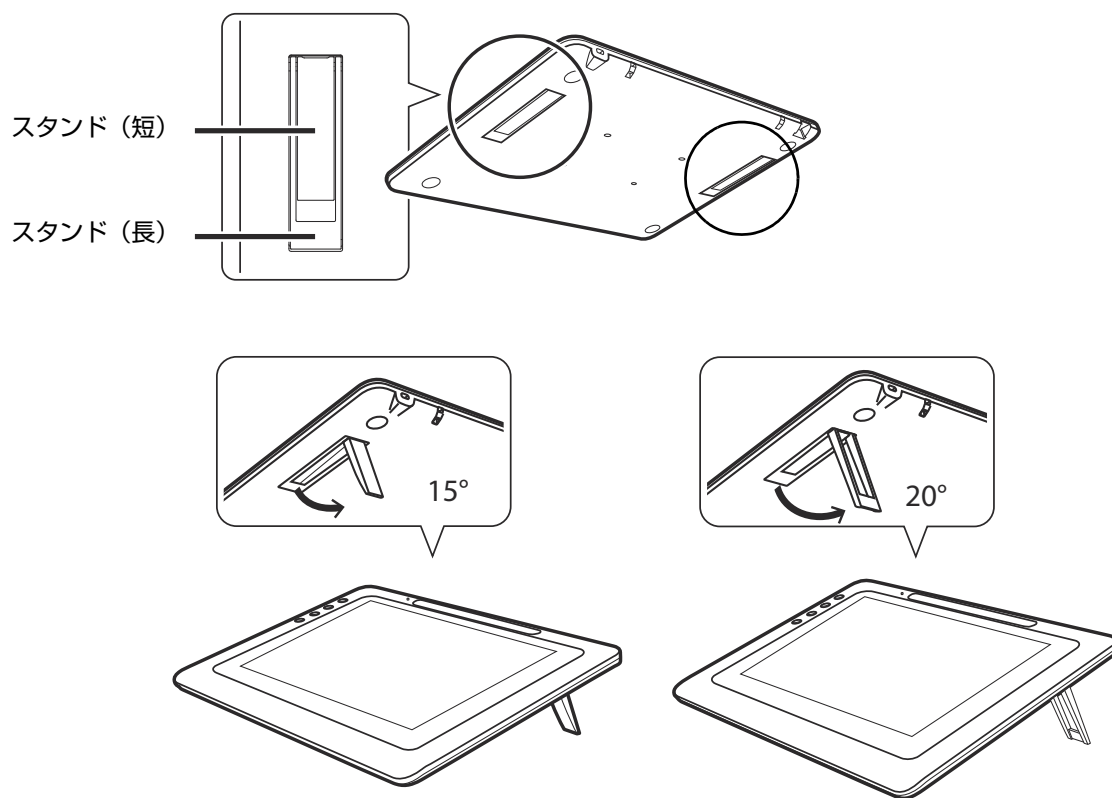
本機の角度調整には本体に収納されているスタンドを使用します。本機の角度調整を参照してください

本機は、VESA 規格に対応しているマウントアーム、または市販のスタンドにも取り付けることができます。詳細は、マウントアームに取り付けて使うを参照してください。

各部の名所

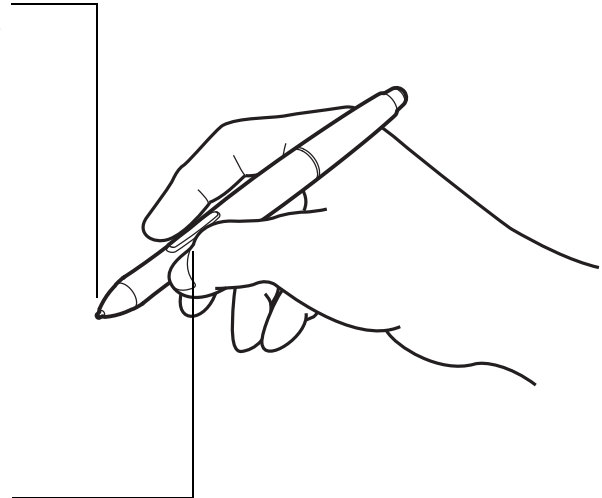
5 – セキュリティロック・スロット
6 – ペン紛失防止ケーブル取り付け穴
7 – USB ポート
8 – ラバーフット
9 – スタンド（短）
10 – スタンド（長）
11 – マウントアーム（VESA 規格）用ネジ穴

本機の角度調整

DTU-1031 はデスク上でフラットにして使用することもできますが、背面に収納された 2 本のスタンドを使用して使いやすい角度に 2 段階で調整することができます。スタンドの位置については図を参照してください。

- 本機を 15 度の角度に設定する場合は短い方のスタンドを引き出します。
- 本機を 20 度の角度に設定する場合は長い方のスタンドを引き出します。

電子ペンの機能

電子ペンはコードレスおよび電池レスで、筆圧機能に対応しています。基本的な機能は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの 4 つです。電子ペンの使い方の詳細は電子ペンの使い方をご参照ください。

ペン先（交換可能）：画面から 5 mm 以内にペン先を近づけると、操作エリアはペン先を認識します。これにより、ペン先で画面に触れずにポインタの位置決めができます。

画面に触れると、電子ペンはマウスの左ボタンクリックと同じ働きをします。ペン先のクリック圧は、コントロールパネルで調整できます。

サイドスイッチ：標準の電子ペンにはサイドスイッチが装備されています。サイドスイッチを押すことにより、あらかじめ設定されている機能が働きます。電子ペンのサイドスイッチに設定する機能は変更可能です。
このスイッチは、親指か人差し指で操作しやすい位置、ただし電子ペン使用時に誤って押してしまわないような位置で使用してください。ペン先が画面の近くにあればサイドスイッチは機能します。ペン先が画面に触れている必要はありません。

補足： 電子ペンを使用していないときは、本機のペンホルダーに収納するか、ペンスタンドに立てておく、または机の上に横にして置いてください。
ペン先が押された状態になる入れ物にペンを収納しないでください。ペンが故障する場合があります。

重要：本機に付属の電子ペンのみをご使用ください。その他のペンは正しく機能しないことがあります。
また、ペン先は本機の画面に対応して設計されています。付属品以外のペン先を使うと、画面を破損するおそれがありますので、使用しないでください

ペン紛失防止ケーブル

電子ペンを本機につないでおくためのペン紛失防止ケーブルが付属しています。電子ペン端部の取り付け穴と本機上部の取り付け穴にケーブルを通して取り付けます。ケーブルの取り付け穴は本体裏面の図で確認してください。

本機のセットアップ

本機を準備する手順は次の 2 段階に分けて行います。

- 初めに、ドライバのインストールを行います。
- 次に、ペンタブレットのセットアップを行います。

手順をよくお読みの上、正しく行ってください。

重要：必ずタブレットドライバをインストールしてください。

システム要件
ステップ 1：タブレットドライバのインストール
ステップ 2：ペンタブレットのセットアップ

システム要件

ご使用中のコンピュータが次のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

- Windows の場合：
  - Windows 8 、Windows （SP1 以降）、Vista（SP2）、XP（SP3/32 ビット版のみ）
  - USB ポート
  - CD-ROM ドライブ
  - インターネット接続
- Macintosh の場合：
  - Mac OS X v10.6.8 以上
  - USB ポート
  - CD-ROM ドライブ
  - インターネット接続

補足：付属の USB ケーブルはコンピュータ接続側に USB コネクタが２つあります。本機への適切な電源供給を確保するため、両方の USB コネクタを使用することをお勧めしますが、1 つのみをコンピュータに接続した状態でも使用できます。

ステップ 1：タブレットドライバのインストール

このステップでは、タブレットドライバのインストール手順を説明します。また、タブレットドライバとともに、本機の正しい動作に必要な追加ソフトウェアの DisplayLink ソフトウェアもインストールされます。詳細については「補足」を参照してください。

重要：必ずタブレットドライバと DisplayLink ソフトウェアの両方をインストールしてください。
まだ USB ケーブルを接続しないでください。USB ケーブルは、タブレットドライバのインストールの後に接続してください。

1. 作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。
2. タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。インストールメニューが表示されます。インストールメニューが自動的に表示されない場合は、CD を開き「インストール」アイコンをダブルクリックします。（ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。）ドライバの詳細については、ドライバのダウンロードページの「補足」リンクをクリックしてください。
3. 「タブレットのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってタブレットドライバをインストールします。
   - Macintosh の場合は、DisplayLink ソフトウェアもインストールされます。
   - Windows の場合は、液晶ペンタブレットをコンピュータに接続すると自動的に DisplayLink ソフトウェアがインストールされます。
   - DisplayLink ソフトウェアは www.DisplayLink.com からもダウンロードできます。
4. インストールが完了したら「OK」をクリックします。

ヒント：タブレットドライバのインストールが正常に行えない場合、ネットワークを切断し、ウィルス監視プログラムを一時的に OFF にして試してください。タブレットドライバのインストールが完了しましたら、必ずウィルス監視プログラムを ON にしてください。

補足： タブレットドライバをインストールすると、Microsoft Windows 8、Windows 7、Vista、および XP（Windows 7 Starter、Home Basic および Windows Vista Home Basic を除く）内で利用可能な新しいペン入力の機能が自動的に起動します。

タブレットドライバはユーザ固有の環境設定を可能にします。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。

Macintosh の場合は、タブレットドライバのインストール後にコンピュータを再起動する必要があります。

付属の CD を使用せず、ワコムのホームページからのダウンロードなどによりタブレットドライバをインストールした場合は DisplayLink ソフトウェアがインストールされません。この場合は必ず別途 DisplayLink のホームページから DisplayLink ソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。DisplayLink ソフトウェアのホームページは www.DisplayLink.com です。

なお、DisplayLink ソフトウェアは Windows XP の 64 ビット版には対応していませんのでご注意ください。

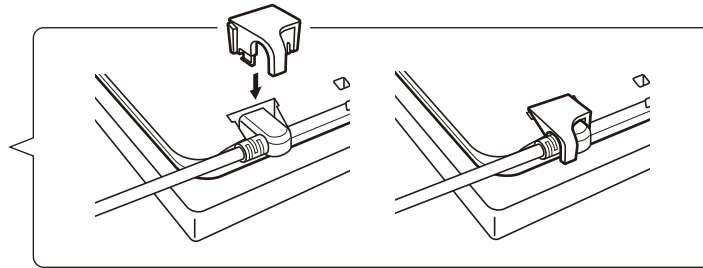
本機が正しく動作しない、またはポインタをコントロールできなくなった場合、本機の環境設定に異常が生じたおそれがあります。現在の環境設定を削除し、本機をお買い上げ時の設定状態に戻すことができます。タブレット設定ファイルの管理を参照してください。

タブレットドライバをアンインストールする場合、タブレットドライバのアンインストールを参照してください。

ステップ 2：ペンタブレットのセットアップ

このステップでは、ペンタブレットのセットアップ手順を説明します。

ケーブルの取り付け

1. 本機の裏面を上にしてコンピュータの近くに置きます。このとき、表面が傷つかないよう下に柔らかい布を敷いてください。
2. 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続します。
3. 図のように USB ケーブルに USB ケーブル固定用カバーを取り付けて外れないようにします。カバーを外す場合は、外側を持って引き上げます。

4. 本機の表面を上にします。
5. USB ケーブルのもう片端にある 2 つのコネクタをコンピュータの空き USB ポートに接続します。

   補足：本機への適切な電源供給を確保するため、両方の USB コネクタを使用することをお勧めしますが、1 つのみをコンピュータに接続した状態でも使用できます。
6. コンピュータの電源をオンにします。
7. 本機のステータスランプ（LED）を確認します。コンピュータと本機が接続されていればステータスランプは薄く点灯し、コンピュータと本機が接続されていて電子ペンで画面にタッチすれば明るく点灯します。
8. タブレットドライバのインストール完了後、電子ペンで画面に近づけてポインタが動くことを確認してください。
9. ペン先を画面上に置くと、ポインタは直ちにペン先のほぼ下の位置に飛びます。ペン先を持ち上げ、画面上の異なる位置に置くと、ポインタは再び新しい位置に飛びます。ディスプレイ画面上でポインタをドラッグしなくてもポインタを操作できます。
10. ポインタの位置を正確にペン先に合わせる場合は、ペン先の位置調整を参照してください。
11. ディスプレイの明るさを変更する場合は、コントロールパネルの「明るさ」設定を調整します（本機をカスタマイズする参照）。

補足：Windows の場合：本機をセカンドディスプレイとして使用する場合は、最初にコントロールパネルの「ディスプレイ」から本機の接続を有効にする設定が必要な場合があります。

その他のディスプレイデバイスを追加する

コンピュータのアナログ RGB または DVI コネクタに別のディスプレイを接続して本機で使用することができます。複数のディスプレイで作業する場合、本機はシステム構成に従ってディスプレイにペンのマッピングを行います。標準設定では、ミラーモードで表示され、各ディスプレイの全画面にマッピングされます。

補足：別のデバイスを接続する前に、本機のセットアップが完了していることを確認してください。

マッピング画面切り替え機能は、マルチディスプレイ環境で利用することができます。これにより、ペンによる操作を本機と他のディスプレイ間で切り換えることができます。

コンピュータに追加ディスプレイを接続しマルチディスプレイ環境で使用する方法については、ご使用のコンピュータまたはオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。システムにデバイスを追加する際は必ず適切なケーブルおよびコネクタを使用してください。

トラブルに関するヒントは、トラブルシューティングを参照してください。

本機の画面に関する補足：

本機のパネルは、厳しい品質基準に基づき製造されておりますが、画素欠点や常時点灯の画素がある場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

画像に微細ストライプ（画面の縞模様など）がある場合、ちらつきまたはモアレを表示しているように見えることがあります。

ディスプレイ画面に過度の圧力を加えないでください。モアレまたは水たまりのような模様が現れる原因になることがあります。

同じ画面を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーを使用することで、残像の発生を軽減させることができます。

本機のバックライトをより長くご使用いただくには、長時間画面を使用しないときは電源を切るようにコンピュータの電源オプションを設定してください。

本機を使用する

本機を使用するときは、紙に書くときと同じように電子ペンを持ち、軽く手を画面上に載せます。

姿勢と作業環境を整える

疲労を軽減させるために、作業環境を整え、楽に作業ができるようにしてください。本機、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所に本機やその他のディスプレイを置いてください。

- 作業の合間に短い休憩をはさみ、ストレッチをして筋肉をほぐすようにしてください。
- 電子ペンを持つときは、なるべく力を抜いて持ちます。
- 長時間同じ作業をしないようにしてください。
- 常に正しい姿勢を保ちます。不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。

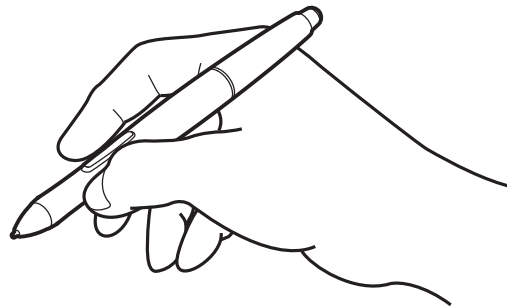
ヒント：

本機は、VESA 規格に対応しているマウントアーム、または市販のスタンドにも取り付けることができます。詳細は、マウントアームに取り付けて使うを参照してください。

電子ペンの使い方

電子ペンはコードレスおよび電池レスです。また、ペン先にかかる筆圧を感知します。

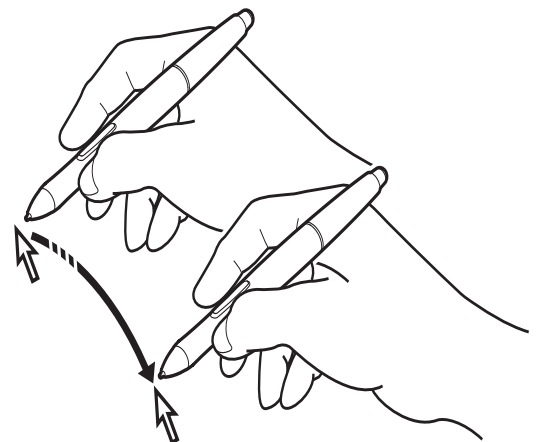
電子ペンを手に持つ

通常のペンや鉛筆のように持ってください。本機を使用するときは、軽く手を画面上に載せます。ペンは持ちやすい角度で持ってください。

お知らせ　誤ってサイドスイッチを押さないように持ってください。

ペンの設定変更については、本機をカスタマイズするを参照してください。

ポインタの位置決め

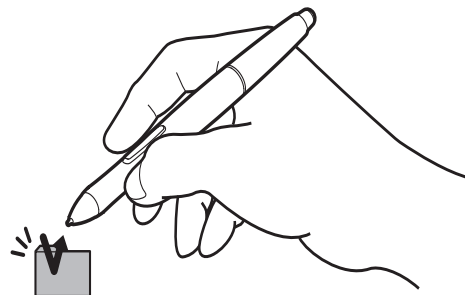
画面上でポインタの位置を決めるときは、画面に触れずにペンを画面の少し上で動かします。続いてペン先で画面にタッチして選択します。

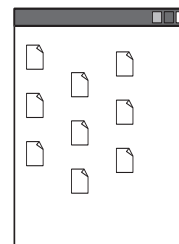
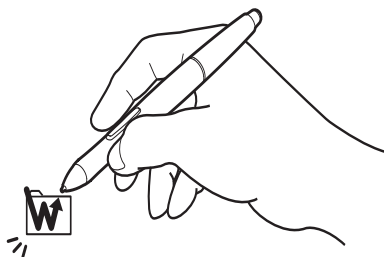
補足：ペン先の位置調整をすると、ポインタの位置を正確にペン先と合わせることができます。ペン先を画面に置いてもポインタがペン先の近くに移動しない場合には、タブレットドライバがインストールされていないか、起動していない、もしくはペン先とポインタの位置調整を行っていない可能性があります。タブレットドライバをインストールしていない場合は、必ずタブレットドライバを再インストールしてください。またトラブルシューティングを参照してください。

クリック

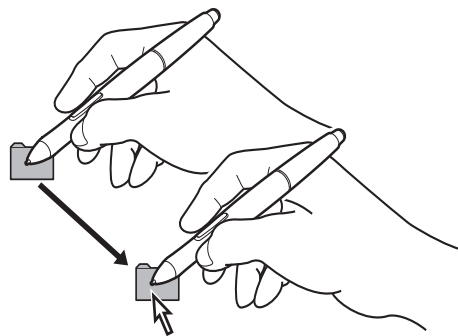
画面をペン先で 1 回軽くたたくか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペン先を画面に押し当てます。

Windows の場合のヒント：電子ペンでの操作をより簡単にする設定。電子ペンをアイコン上で 1 回クリックするとアイコンが起動するように、Windows を設定できます。この機能を使うときは、まずフォルダを開き、続いて以下の設定を行ってください。

Windows 8、Windows 7、Vista の場合のヒント：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

Windows XP の場合のヒント：「ツール」プルダウンメニューから、「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

ダブルクリック

サイドスイッチが「ダブルクリック」に設定されている場合はサイドスイッチを押すか、または同じ場所でディスプレイ画面をペン先で素早く 2 回、軽くたたきます。電子ペンをディスプレイ画面に対して直角にするとダブルクリックしやすくなります。

ドラッグ

オブジェクトを電子ペンでタッチし、次にペン先を画面上でスライドさせて、オブジェクトを動かします。

サイドスイッチを使う

電子ペンには設定可能なサイドスイッチがついており、ペン先が画面の近く（5 mm 以内）にあるときは、いつでも使用することができます。ペン先で画面に触れる必要はありません。標準設定では、サイドスイッチは「右ボタンクリック」に設定されています。サイドスイッチの機能はコントロールパネルで変更または無効にすることができます。本機をカスタマイズするを参照してください。

筆圧を使って描画する

電子ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンのストロークを作成します。筆圧対応のアプリケーションは、ペンに加えられた筆圧に反応します。

マルチディスプレイ環境で使う

本機およびセカンドディスプレイを同一のコンピュータに接続した場合、ディスプレイ上でのポインタの動作はシステム構成によって異なります。

セカンドディスプレイがミラーモードで接続されている場合は、本機とセカンドディスプレイに同じ画面とポインタ動作が表示されます。

マルチディスプレイ環境で使用する場合には、セカンドディスプレイを操作するオプションがいくつかあります。

- 電子ペンのサイドスイッチに「マッピング画面切り替え」機能を設定します。続いてサイドスイッチを押すと、本機とセカンドディスプレイとの間でポインタを切り替えることができます。たとえば、ご使用中の装置を液晶ペンタブレット（ポインタの位置はペン先）として使用したり、切り替えて通常のペンタブレット（ポインタをデスクトップ全体またはセカンドディスプレイ上で移動可能）として使用したりできます。詳細は、マッピング画面切り替えを使うを参照してください。
- サイドスイッチに「ペン⇔マウスモード」を設定します。これによって本機の上で作業するペンモードとセカンドディスプレイ上で作業するマウスモードをすばやく切り替えることができます。
- ファンクションキーに「マッピング画面切り替え」または「ペン⇔マウスモード」を設定します。

ファンクションキーの使い方

ファンクションキーは、よく使う機能やキーストロークを割り当てて使用します。また、電子ペンのプロパティの修正にも使用できます。

以下に標準設定を示しています。番号は、本体正面に記載の 1 ～ 4（上から順）のファンクションキー番号です。ファンクションキーにその他の機能を設定するにはコントロールパネルを使用してください (本機をカスタマイズする) 参照)。

ファンクションキー番号	機能
1	ラジアルメニュー
2	SHIFT
3	CTRL
4	ALT

ファンクションキーはそれぞれ組み合わせて使用することもできます。2 つのキーを同時に押すとその組み合わせの機能が実行されます。

本機をカスタマイズする

本機の基本的な使い方を習得した後に、本機や電子ペンの機能をカスタマイズしてみましょう。この章では、コントロールパネルを使い、本機をカスタマイズする方法について説明します。

操作に慣れたユーザは、特定のソフトウェアに対する設定を作成することにより、本機を最適な状態でお使いいただくことができます。

コントロールパネルを開く

コントロールパネルから本機をカスタマイズできます。詳細についてはコントロールパネルの概要を参照してください。

コントロールパネルは、本機の画面上で電子ペンを使って開くことができます。

Windows 8 の場合：Windows 8 の「スタート」画面から「ワコムタブレットのプロパティ」（タイル）をクリックします。Windows 8 のクラシックデスクトップを使用している場合は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面を開きます。

Windows 7 、Vista、XP の場合：

Windows の「スタート」ボタンをクリックして「（すべての）プログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。

Macintosh の場合：

1. アップルメニューの「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。
2. 「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

補足： タブレットドライバは、ユーザ固有の環境設定が可能です。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。

コントロールパネルの概要

コントロールパネルを使って本機をカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、ペンのアイコンが「入力デバイス」に表示され、その内容に応じてタブが表示されます。

電子ペンと本機をカスタマイズする場合は、タブの設定を変更します。いろいろな設定を試して、最適な設定を見つけてください。設定の変更は直ちに有効となります。「標準設定」をクリックすると、いつでもお買い上げ時の標準設定に戻ります。

補足： 特定のソフトウェアに対する設定は、操作に慣れたユーザ向けです。

コントロールパネルの上の部分は、ご使用のタブレット、入力デバイスおよびソフトウェアの設定を表すアイコンを表示します。

ラジアルメニューの設定をカスタマイズするには、「ファンクション」を選択します。マルチディスプレイ環境では、マッピング画面切り替え機能も利用することができます。

電子ペンの設定をカスタマイズするには「ペン」を選択します。

各タブには、選択した入力デバイスに対してカスタマイズ可能な設定が表示されます。

タブレットとタブレットドライバに関する情報が記載されたダイアログを表示します。「診断」ダイアログボックスにもアクセスできます。

ユーザーズガイド（本書）を表示します。

「オプション設定」ダイアログを表示します。

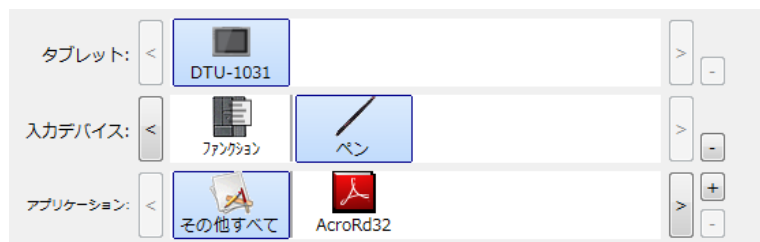
コントロールパネルのほとんどの項目で、項目の上に画面のポインタを静止させるとヒントがすぐにポップアップします。

さらに、キーボードのタブと矢印キーでコントロールパネルを操作することもできます。

コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」および「アプリケーション」リストから、設定変更するタブレット、入力デバイス、およびソフトウェアを選択できます。

「タブレット」リストには、コンピュータに接続しているタブレットのアイコンが表示されます。このリストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

- タブレットがコンピュータに接続されていないときは表示されません。
- 接続しているタブレットの設定を閲覧または変更することができます。
- コンピュータに接続されていないタブレットの設定は、コントロールパネルリストから削除できません。

複数タブレットの設置も参照してください。

現在の選択がハイライトされます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」と「ペン」のアイコンが表示されます。

補足：タブレット上で初めて電子ペンを使用すると、電子ペンは自動的に「入力デバイス」リストに加えられ、標準設定で機能します。詳細は、電子ペンのカスタマイズを参照してください。

「アプリケーション」リストを使って、特定のソフトウェアにのみ適用する「入力デバイス」設定を定義できます。特定のソフトウェアに対する設定を参照してください。

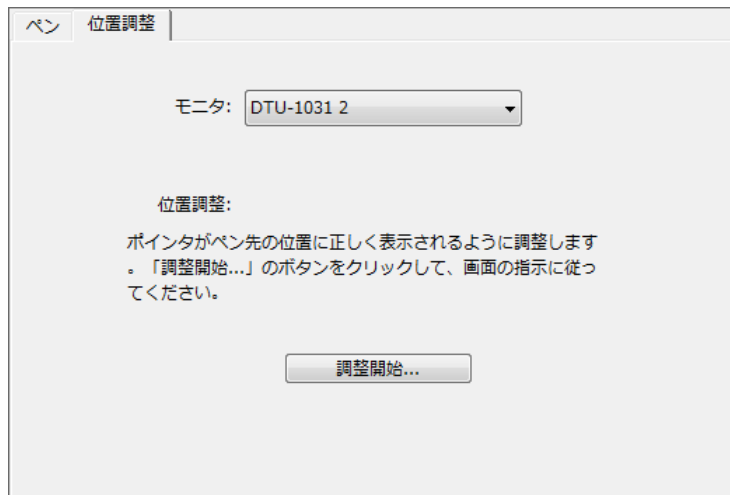
補足：「アプリケーション」リストは操作に慣れたユーザ用です。お使いの電子ペンをカスタマイズするために、ソフトウェアを選択または追加する必要はありません。

ペン先の位置調整

ポインタとペン先の位置を合わせる場合は、ペン先の位置調整を行う必要があります。これは、保護ガラスによる視差の調整のために必要です。本機を通常使用するときの姿勢と目の位置（高さ）で、次の手順を行ってください。

補足： 調整を行う際は、画面上の指示をよく読んでオプションを確認してください。この設定はすべてのソフトウェアに適用されます。

1. コントロールパネルを開きます。

   コンピュータに複数のタブレットを接続している場合は、位置調整をするタブレットを「タブレット」リストから選択します。
2. 「入力デバイス」リストから「ペン」を選択します。
   次に「位置調整」タブを選択します。
3. 複数のディスプレイを使用している場合は、「モニタ」欄で本機を選んでください。（コンピュータが認識しているディスプレイがリストに表示されます。）
4. 「調整開始 ...」をクリックして位置調整画面を開きます。
5. 普段通りにペンと本機を持ち、左上に表示された十字マークの中心をペン先でクリックします。
6. 十字マークは順番に表示されるので、その表示された十字マークの中心をペン先でクリックします。
7. ダイアログが表示されますので、ディスプレイ上の数カ所でペンの位置決めを行って調整をテストします。問題なければ「OK」をクリックし、再度調整する場合は「再調整」をクリックします。

ヒント：ポインタを実際のペン先の位置から少しずらすには、十字マークからずれた位置を示す点をクリックして位置調整します。たとえば、ポインタの位置をペン先の左上方 2.5 mm に表示させるには、十字マークの右下方 2.5 mm の点をクリックして位置調整します。

電子ペンのカスタマイズ

電子ペンをカスタマイズするには、まず電子ペンでコントロールパネルを開きます。そして「入力デバイス」リストから「ペン」を選ぶと、その内容に応じてタブが表示されますので、タブを選択し、使用可能なオプションを設定してください。

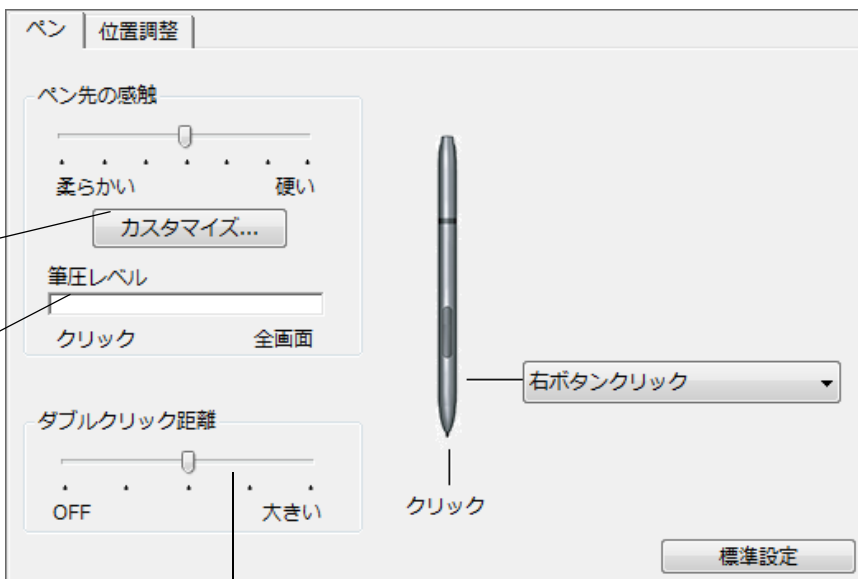
ペン先の感触とダブルクリックの調整

ペンの感度を調整する場合は、「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたりする際に必要な筆圧を、カスタマイズします。

太い線で書きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、より「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を書きたいときは、より「硬い」に設定します。

ペン先の感度をさらにカスタマイズできるペンの感触の詳細設定ダイアログボックスを表示します。

画面上の空領域にポインタを置き、ペン先で画面を押して、設定した「ペン先の感触」をテストします。無理なく最大筆圧が得られるように、「ペン先の感触」をスライダで調整します。

ダブルクリックする領域の大きさを調整します。値が大きいほどダブルクリックしやすくなります。

ダブルクリックアシストを作動しないようにするには、スライダを OFF の位置へドラッグします。

ヒント：

「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。

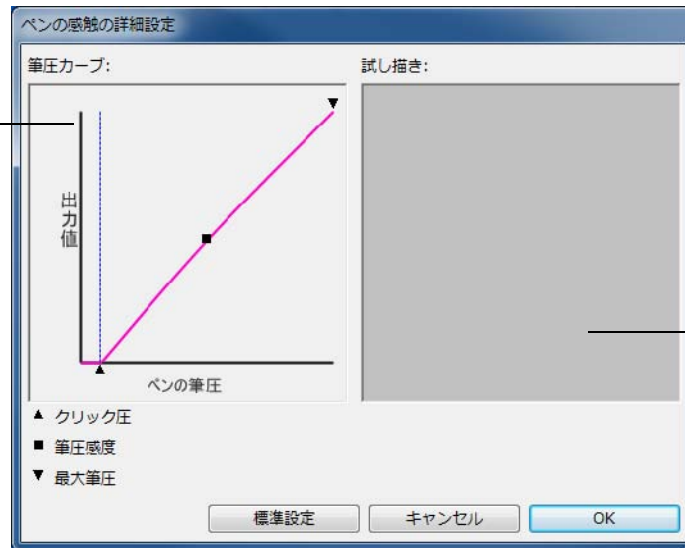
ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。電子ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。

ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

グラフィックソフトウェアによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ブラシストロークの開始が遅れるため、ドラッグ操作やインクのストロークの開始が遅れることもあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください。

ペン先の筆圧の詳細設定

ペン先の筆圧を設定する場合、「ペン」を選択し、「カスタマイズ ...」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先の筆圧感度とクリックのしきい値設定を変更できます。（「ペン」タブの設定は「ペンの感触の詳細設定」スライダーで同時に調整されます。））

筆圧カーブは、選択した筆圧感度の曲線とクリック圧の設定を図で示したものです。筆圧の各コントロールを動かして、筆圧カーブを変更します。

ペン先を使って、ボックス内で何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

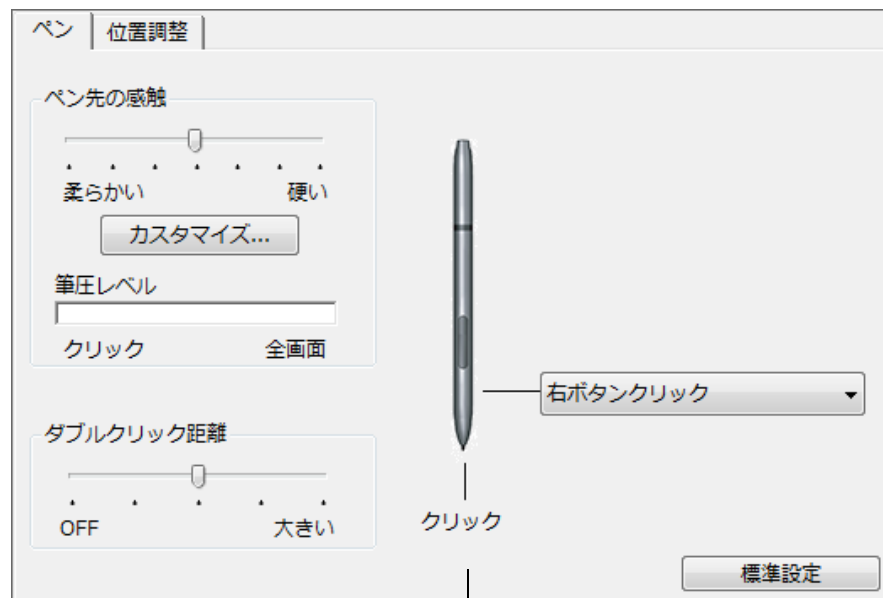
ペン先とサイドスイッチのカスタマイズする

サイドスイッチおよびペン先に割り当てられた機能を変更する場合は、「ペン」タブを選択します。

電子ペンのサイドスイッチを押した場合に働く機能を選択します。

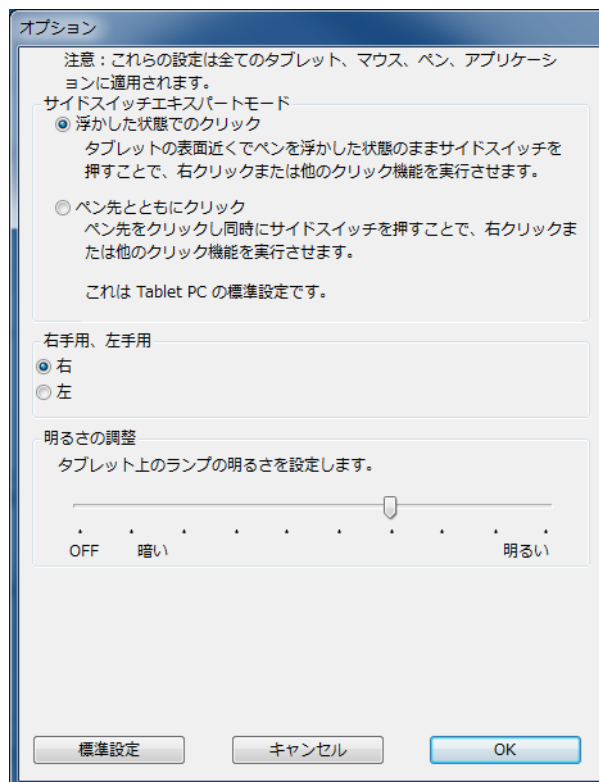
画面に触れずにペン先を画面から 5 mm 以内に近づけて、電子ペンのサイドスイッチを押すと、設定した機能が実行されます。

ヒント：簡単にダブルクリックを行うには、「ダブルクリック」を選択して、サイドスイッチが自動的にダブルクリックになるように設定します。

ペン　位置調整
ペン先の感触
柔らかい　硬い
カスタマイズ...
筆圧レベル
クリック　全画面
ダブルクリック距離
OFF　大きい
右ボタンクリック
クリック
標準設定

ペン先に割り当てた機能を変更するには、文字の上をダブルクリックします。

補足：グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

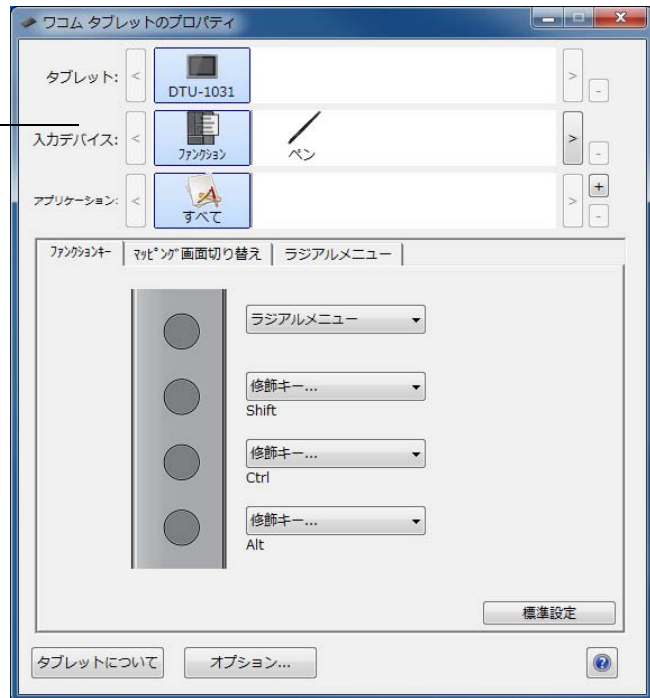
「サイドスイッチエキスパートモード」で、右クリックなどのクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。
メインコントロールパネル下部の「オプション ...」ボタンをクリックして、「オプション」ダイアログを表示してください。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先をタブレット面に接触させずにクリック機能を実行することができます。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、正確な位置でクリックすることができます。クリック機能を実行するには、電子ペンのサイドスイッチを押しながらペン先をタブレット面に接触させます。これはタブレット PC の標準設定です。
- 利き手を「右利き」、「左利き」から選びます。
- 「明るさ調整」スライダーで、任意の画面明るさを設定します。

ファンクションキーのカスタマイズ

ファンクションキーのカスタマイズを行う場合は、「ファンクションキー」タブを選択します。ファンクションキーはそれぞれ、マッピング画面切り替え、修飾キー、キーストロークなどの機能を割り当てることができます。

ファンクションキーを押した場合に働く機能を選択します。(機能設定参照)

ファンクションキーの機能は特定のアプリケーションに対して設定できます。

詳細は、ファンクションキーの使い方を参照してください。)

重要：アプリケーションによっては、ファンクションキーの機能があらかじめ設定されている場合があります。

機能設定

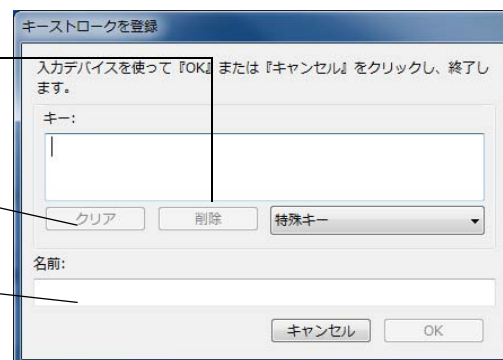
サイドスイッチ、ファンクションキー、ラジアルメニューの設定に利用可能なオプションを説明します。ここに示すオプションは、一部の機種で利用できないことがあります。

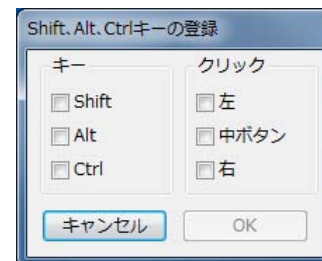
機能名	内容
クリック	
• クリック	クリックを行います。
• 右ボタンクリック	右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。これは電子ペンのサイドスイッチの標準設定です。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で 2 度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	サイドスイッチを 1 回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。
• 第 4 ボタンクリック	マウスの第 4 ボタンを押すことに相当します。
• 第 5 ボタンクリック	マウスの第 5 ボタンを押すことに相当します。
キーストローク ...	キーストロークを割り当てできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。 １つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせて「キー」ボックスに入力できます。 キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）を組み合わせることができます。「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。 キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。 重要：[Enter] キー (Windows) と [Return] キー (Macintosh) は、キーストロークとして定義できますが、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用できません。必ず電子ペンを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。 ダイアログが表示されたら、キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。 キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

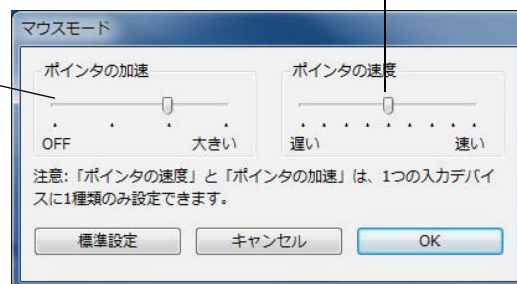
キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容のみ削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアします。

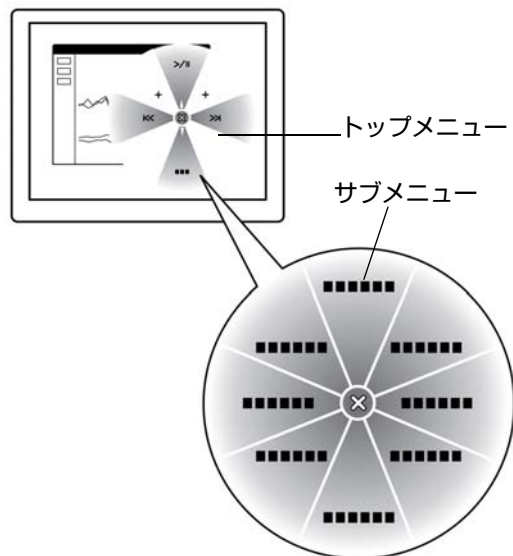
定義したキーストロークの名前を入力できます。

キーストロークを登録
入力デバイスを使って『OK』または『キャンセル』をクリックし、終了します。
キー:
クリア　削除　特殊キー
名前:
キャンセル　OK

ソフトウェアでサポートされているキーストロークショートカットについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

機能名	内容
修飾キー ...	修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）を割り当てできます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。 1 つ以上のキーオプションを選択します。「クリック」ボックスをチェックすると、デバイスボタンを押すと必ずマウスのクリックが実行されるようになります。
ラジアルメニュー	画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。
戻る	ブラウザで「戻る」機能を実行します。
進む	ブラウザで「進む」機能を実行します。
スクロール / 移動（ペンのみ）	「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、本機の操作エリアでペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。 「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。 設定値を小さくすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。 電子ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。 目的位置までスクロールまたは移動させたら、サイドスイッチを指から離すか、ペン先をタブレットから離してください。 文書がペン先の動きにつれて正確にポインタに追従するソフトウェアと、文書がポインタと同じ方向に移動するのみのソフトウェアがあります。

機能名	内容
デスクトップを表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
タスク切り替え	起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをウィンドウ切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows 7 または Windows Vista では、3D フリップが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。
開く / 起動 ...	ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。 「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェアを選択します。「起動するアプリケーション」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。「OK」をクリックします。 アプリケーションを起動 / 起動するアプリケーション / 名前 / 参照... / OK / キャンセル ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがデバイスボタンオプションとして割り当てられます。デバイスボタンを押すだけで、割り当てたオプションが実行されます。 ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。
オンスクリーンキーボード	ボタンを押すと、画面上にキーボードが表示されます。再度押すと、キーボードは閉じます。
Ink 文字認識 ON/OFF	(Macintosh)　Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。 Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については、Macintosh のヘルプをご覧ください。
Expose	(Macintosh)　画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ....」→「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。
筆圧一定	デバイスボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。 たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にデバイスボタンを押すと、デバイスボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。
プレシジョンモード	現在のペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。電子ペンを大きく動かしても画面上のポインタは、その 2 分の 1 の距離だけ移動します。このモードを有効にするには、機能を割り当てたデバイスボタンを押し続けます。デバイスボタンを放すと、通常のマッピングに戻ります。 電子ペンが「マウスモード」の場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。
マッピング画面切り替え	マルチディスプレイ環境の場合、本機と他のディスプレイの間でポインタを切り替えることができます。選択によって、本機を液晶ペンタブレットとして使用したり（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のワコムタブレットとして使用する（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）ことができます。マッピング画面切り替えを使うを参照してください。

機能名	内容
ペン⇔マウスモード	ペンモードとマウスモードを切り替えます。デバイスボタンを「ペン⇔マウスモード」に設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速度とスピードを調整できます。 マウスモードではポインタの速度を設定します。 マウスモードではポインタの加速を設定します。 マウスモード ポインタの加速　ポインタの速度 OFF　大きい　遅い　速い 注意:「ポインタの速度」と「ポインタの加速」は、1つの入力デバイスに1種類のみ設定できます。 標準設定　キャンセル　OK 「マウスモード」はコントロールパネル内の別のダイアログからでもアクセスし設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、カスタマイズ中の電子ペンとソフトウェアにつき、１つしか設定できません。 「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、システム設定からは独立しています。コントロールパネルで設定を変更しても、システム側の同内容の項目の設定には影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、本機の設定に影響する場合があります。
タブレット PC	
• Tablet PC 入力パネル	（タブレット PC およびタブレット PC 入力パネルをサポートする Windows システム） この機能に設定したボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
• Windows Journal	（Windows および Microsoft Journal を含むタブレット PC システム）Microsoft Journal を開きます。
• Tablet PC の設定に従う	（タブレット PC およびタブレット PC 入力パネルをサポートする Windows システム） 以下に示す設定に従ってデバイスボタン機能を設定します。 • Windows 8、Windows 7 および Vista の「Tablet PC 設定」および「ペンと入力デバイス」コントロールパネル • Windows XP Tablet Edition の「タブレットとペンの設定」コントロールパネル
無効	デバイスボタン機能を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにデバイスボタンの数の情報を送ります。この機能は、組み込みサポートを搭載した CAD プログラムなどのソフトウェア用です。
標準設定	デバイスボタンを標準設定に戻します。

ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューは円形のポップアップメニューです。ラジアルメニューを表示するには、電子ペンのサイドスイッチまたはファンクションキーに「ラジアルメニュー」を設定します（ファンクションキー 1 の標準設定)。設定したサイドスイッチまたはファンクションキーを押すと、ラジアルメニューがポインタの位置に表示されます。

- ラジアルメニューは円形で表示され、機能はデスクトップ全体に広がります。ラジアルメニューは階層で構成されています。メニューの各レベルは、8 つの項目で構成され、各項目にはさまざまな機能と選択可能なオプションが設定できます。
- ラジアルメニュー内でメニュー項目をクリックし、利用可能なオプションを選ぶことができます。追加オプションを示すサブメニューが表示される場合もあります。
  補足：ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。
- 機能を選択せずにメニューを終了する場合、メニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。

コントロールパネルの「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. メニュー項目を選択します。
2. 「機能」でメニュー項目に機能を割り当てます。「表示名」でメニュー名を変更することもできます。
3. メニュー項目にさらに 1 階層追加する場合は、サブメニューを選択します。
4. メニュー項目を選択します。
5. 実行する「機能」を選択します。

マッピング画面切り替えを使う

「マッピング画面切り替え」はシステムがマルチディスプレイで構成されている場合に利用できます。この機能を使うと、本機の画面上で電子ペンを使いながら、システム上の任意のディスプレイでポインタを操作することができます。ファンクションキー、または電子ペンのサイドスイッチに「マッピング画面切り替え」を設定すると、デバイスボタンを押すたびにポインタの位置を本機と他のディスプレイで切り替えることができます。液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のワコムタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

本機がマルチディスプレイ環境に接続されている場合、コントロールパネルには「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、各ディスプレイのマッピング方法を設定します。

- 「デスクトップ全体に切り替える」を選択しデバイスボタンに「マッピング画面切り替え」を割り当てると、マルチディスプレイ領域全体を操作できるようになります。デバイスボタンをもう一度押すと、ポインタは本機へ戻ります。
- 「他のモニタに切り替える」に設定しデバイスボタンを押すと、ポインタは他のディスプレイに表示されます。
  他のディスプレイが複数あるときは、デバイスボタンを押すたびにポインタはディスプレイ間を移動し、最後に最初のディスプレイに戻ります。

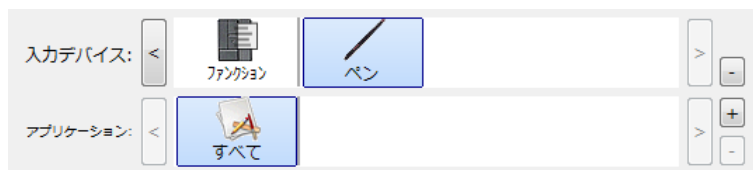
重要：「マッピング画面切り替え」で特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合、アプリケーションリスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンがあるかを確認してください。

「有効領域」オプションを使って、画面上の操作エリアのサイズを設定できます。指定すると赤色のインジケータが更新され、選んだ範囲を表示します。

- 「縦横比を保持」は操作エリアのサイズを調整して、本機とデスクトップ全体または新規にマッピングされたディスプレイの間で正確な縦横比率を保持します。設定内容によっては、操作エリアの一部は、このオプションを選択した場合に使用できなくなる場合があります。
- 選択をしないと、正確な縮尺比または比率は維持されません。たとえば、画面に円を描いてもマッピングされたディスプレイ画面上では楕円が描かれます。
- 「小さな領域を使う」は、タブレットの操作エリアを 15.2 × 20.3 cm のサイズに制限します。もし「縦横比を保持」も合わせて選択すると、操作エリアはさらに小さくなります。
  選択をしないと、タブレットの操作エリアの大部分が本機からディスプレイへのマッピングに使用されます。

特定のソフトウェアに対する設定

使用する電子ペンは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定するということが可能です。「アプリケーション」リストにアプリケーション（ソフトウェア）を追加し、次に追加したソフトウェアに対してペンの設定をカスタマイズします。

- ソフトウェアごとの設定を行わずに、電子ペンを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、ソフトウェアすべてに電子ペンの設定を適用します。
  以下の例では、特定のソフトウェアに対する設定が「ペン」に行われていません。そのため、「すべて」アイコンが表示されています。「ペン」の設定はすべてのソフトウェアに共通です。

- 特定のソフトウェアに対する設定が、「アプリケーション」リストに加わると、「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わり、新しく追加されたソフトウェアのアイコンが追加されます。

  上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「ペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択してタブの設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した電子ペンとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する
特定のソフトウェアに対する設定を変更する
特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を作成する

初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成するタブレットと電子ペンを選択します。次に「アプリケーション」リストの［+］ボタンをクリックすると、「アプリケーションを登録」ダイアログボックスが表示されます。

ソフトウェアを選択するには、次の 2 つの方法のうちいずれかを選択します。

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。

「選択されたアプリケーション」欄に、選択したソフトウェアの名称が表示されます。

アプリケーションを登録
アプリケーションを選択
開いているアプリケーション
AcroRd32
TabTip
または↓
参照...
選択されたアプリケーション:
キャンセル OK

補足： 2 つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、2 つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。

ソフトウェアを追加したあと、電子ペンを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に電子ペンと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより電子ペンが使いやすくなったら、さらに、別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。

特定のソフトウェアに対する設定を変更する

入力デバイスの設定を特定のソフトウェア用に変更するには、入力デバイスとソフトウェアを選択し、表示されるタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから「ペン」を選択します。次に「アプリケーション」リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで [–] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確認します。選択したソフトウェアは、作成済みのペンの設定とともにリストから削除されます。

<u>ヒント</u>：電子ペンから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストから「ペン」を削除します。続いて電子ペンを液晶ペンタブレットの上に戻すと、「ペン」は標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。

トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順をご覧ください。
2. 本機が正常に作動しない場合は、トラブルシューティング情報をご覧ください。ディスプレイのトラブルシューティング情報やタブレットのトラブルシューティング情報も合わせてご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
3. ワコムのホームページにある「よくあるご質問と回答：FAQ」をご覧ください。
   http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/
4. 本機と新しいハードウェアまたはソフトウェアで互換性の問題が発生した場合は、最新版のタブレットドライバのダウンロードをご検討ください。ワコムでは定期的にタブレットドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。ドライバのダウンロードをご覧ください。
5. 本書で解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムサポートセンターにお問い合わせください。サポート情報については、テクニカルサポートをご覧ください。

本機のテスト

1. 本機のステータスランプが点灯しない場合は、以下をご確認ください。
   - 点灯していない場合は、コンピュータの電源がオンになっており本機と正しく接続されているか確認してください。USB ケーブルがしっかりと本機およびコンピュータに接続されているかご確認ください。
2. 画面に何も表示されない場合は、以下を確認してください。
   - コンピュータの電源が入っているかをご確認ください。正しいビデオ信号が入力されると、ランプは青色に点灯します。
   - DisplayLink ソフトウェアが正しくインストールされているかご確認ください。
   - USB ケーブルがしっかりと本機およびコンピュータに接続されているかご確認ください。
3. 本機の画面上で電子ペンが正常に使えることを確認してください。
   - ペン先を画面に押し当て、青色のステータスランプがさらに明るくなることをご確認ください。
   - 青色のステータスランプが明るくならない場合は、USB ケーブルが有効な USB ポートに接続されているかご確認ください。本機を USB ハブに接続している場合は、コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。一方の USB コネクタしか使用していない場合は、もう一方のコネクタも接続してください（コンピュータに空き USB ポートがある場合）。
   - 接続中の USB ポートが有効であることをご確認ください。USB ポートが有効かどうかを確認するときはご使用のシステムの BIOS 設定の確認を行ってください。本機が USB デバイスとして登録されているときは、ペン先をディスプレイに押し当てると青色のステータスランプがさらに明るくなります。
4. 画面上で電子ペンを操作できないときは、以下のテストを行ってください。
   - ペン先を画面に押し当てて、青色のステータスランプがさらに明るくなることを確認してください。
   - 筆圧を加えずに電子ペンを画面から 5 mm 以内に近づけサイドスイッチを押して、青色のステータスランプがさらに明るくなることを確認してください。
   - 以上のテストで青色のステータスランプが明るくならない場合は、本機に対応していないペンを使っていないかご確認ください。
   - 詳細は、電子ペンのテストを参照してください。

症状が回復しない場合、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。

電子ペンのテスト

電子ペンが思う通りに動作しない場合は、サイドスイッチに割り当てた機能を確認するか、電子ペンの設定をリセットすることをお勧めします。電子ペンの設定を簡単にリセットするときは、「入力デバイス」リストの「ー」ボタンをクリックして、リストから「ペン」を削除します。続いて電子ペンのペン先を本機の画面に近づけると、「ペン」が標準設定で「入力デバイス」リストに追加されます。

コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。「診断」ダイアログボックスには本機に関する情報が表示されます。この情報を利用して本機とご使用中の電子ペンをテストします。

システムに複数のタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄でテスト中のタブレットを選択してください。

補足： サイドスイッチに「ラジアルメニュー」または「開く / 起動」が割り当てられている場合、サイドスイッチを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にサイドスイッチの機能を変更してください。

1. 「診断」ダイアログボックスの「入力デバイス情報」欄を見ながら、ペン先を画面から 5 mm 以内に近づけます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」が表示されます。
2. 本機の操作エリアで電子ペンを移動させると、X 座標と Y 座標のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
3. 電子ペンの機能をテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押すと、本機の青色のステータスランプがさらに明るくなります。
   - 画面をペン先でクリックすると、「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します（筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100%の範囲で変化します）。
   - タブレットにペン先を押し当てずにサイドスイッチを押すと「スイッチ」の状態が変わります。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンを押してダイアログボックスを終了します。

ディスプレイのトラブルシューティング情報

本機の液晶表示部で問題が発生した場合は、以下の表を参考に解決を試みてください。詳細については、ご使用のオペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

ディスプレイの一般の問題
タブレットのトラブルシューティング情報

ディスプレイの一般の問題

症状	対処
画像が表示されない。ステータスランプが点灯しない。	• USB ケーブルが本機とコンピュータに正しく接続されているかをご確認ください。 • タブレットドライバと DisplayLink ソフトウェアが正しくインストールされているかをご確認ください。
ステータスランプが点灯しない。「no input signal go to power saving mode」というメッセージが画面に表示される。	• お使いのコンピュータが省電力状態になっている可能性があります。ペン先を画面に当てたり、マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 • コンピュータの電源を切り、USB ケーブルが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にケーブルを正しく接続して、コンピュータの電源を入れてください。
同じ画像が長時間表示された後、残像が短時間続く。	残像は時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーまたはコンピュータの省電力機能を使用することをお勧めします。

タブレットのトラブルシューティング情報

本機のタブレット部で問題が発生した場合は、以下の表を参照し解決を試みてください。より詳細な情報については、ワコムのホームページにアクセスしてください。http://www.wacom.com/support

一般的な問題

電子ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧機能を使って線が描けない。	タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。 タブレットドライバがインストールされていることを確認してください。 タブレットドライバがインストールされていない場合は、本書の本機のセットアップを参考にタブレットドライバをインストールしてください。
筆圧機能が使えない。	ソフトウェアによっては、電子ペンを使う前に筆圧機能をオンにする必要があるものもあります。 お使いのソフトウェアが筆圧に対応しているか確認してください。 コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。ペンで画面をタッチし、筆圧レベルのインジケータが筆圧に応じて上下するか確認してください。
クリックが利かない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ペン先の感触」を柔らかくしてください。
電子ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ペン先の感触」スライダーを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。正常に戻らない場合は、電子ペンのテストを参照してください。
ダブルクリックが利かない。	画面の操作エリア内の同じ場所をすばやく 2 度軽くたたいてみてください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることをお勧めしています。 コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ダブルクリック距離」を長くするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定してください。 Windows の場合：1 回のクリックでプログラムが起動するように設定することができます。クリックを参照してください。
ペンのストロークまたはインクのストロークの開始が遅れる。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ダブルクリック距離」を少なくしてください。正常に戻らない場合は、「ダブルクリック距離」スライダを「OFF」にドラッグして、ダブルクリックアシストをオフにします。ペン先の感触とダブルクリックの調整を参照してください。
ペン先を強く押さなければ、クリックや書き込みができない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ペン先の感触」スライダーを「柔らかい」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択して「筆圧感度」と「クリック圧」設定を少なくします。ペン先の感触とダブルクリックの調整を参照してください。

ペン先が利かない。	必ず本機に付属の電子ペンをお使いください。付属品以外の電子ペンは本機で正しく機能しない場合がありますので、使用しないでください。 コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。 ペン先を押したとき、青色のステータスランプがさらに明るくなることを確認してください。明るくならない場合、USB ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。USB コネクタを 1 つしか接続していない場合は、もう一方のコネクタも接続してください(コンピュータに空き USB ポートがある場合)。 以上を行ってもランプが明るくならない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。(トラブルシューティングを参照してください。)
ペン先とポインタがずれる。	コントロールパネルを開き、「調整開始 ...」を選択します。ペン先の位置調整を参照してください。
電子ペンの機能設定を変更しても反映されない。	使用中の電子ペンとソフトウェアに対して設定変更を行っているか確認してください。特定のソフトウェアに対する設定を参照してください。
電子ペンのサイドスイッチが利かない。	必ず本機に付属の電子ペンをお使いください。付属品以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。 ペン先が画面の操作エリアから 5 mm 以内にあるときにサイドスイッチを押してください。ペン先で画面を押さずに行います。 コントロールパネルで、サイドスイッチが使用中のソフトウェアと電子ペンで実行する機能に設定されていることを確認してください。 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面にタッチさせる必要があります。 サイドスイッチを押すと、青色のステータスランプがさらに明るくなることを確認してください。 明るくならない場合、USB ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 以上を行ってもステータスランプがさらに明るくならない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます(トラブルシューティングを参照してください)。
ポインタは動かせるが、ペン先を画面に置いてもペン先の位置にジャンプせず、ペン先の動きに連動しない。	コントロールパネルを開きタブレットドライバが正しくインストールされているか確認します。インストールされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。 その場合は、コンピュータを再起動し本機のセットアップ説明を参考にタブレットドライバを再インストールしてください。(Macintosh の場合は、タブレットドライバをインストールした後、コンピュータを再起動してください。) 電子ペンのサイドスイッチでペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定している場合は、本機がペンモードで作動しているか確認してください。

マルチディスプレイ環境で本機を使用している場合に、電子ペンで他の複数のディスプレイを操作できない。	コントロールパネルを開き、デバイスボタンにマッピング画面切り替えを設定してください。デバイスボタンを押すことによって、操作できるディスプレイを切り換えることができます。 マウスモードで電子ペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、サイドスイッチにペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定し、サイドスイッチを押してペンモードとマウスモードを切り替えてください。
描いた線とポインタの位置が合わない。	電子ペンがペンモードに設定されていないと正しく機能しません。電子ペンがマウスモードに設定されていないことを確認してください。 ペンモードに設定されても問題が解決しないときは、環境設定ファイルが壊れている可能性があります。Windows または Macintosh のトラブルシューティング指示に従って、新しい環境設定ファイルを作成してください。
コンピュータが省電力状態にならない。	電子ペンを使用していないときは、本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。置いたままにすると本機はデータを送り続け、コンピュータは作動状態であり続けます。
マウスまたはトラックボールの使用中、ポインタが急に引き戻される。	電子ペンを使用していないときは、本機のペンホルダーに収納するか、専用のペンスタンドに立てるか、あるいは本機から下ろして本機の近くに置き、本機の画面上には置かないようにしてください。電子ペンを画面上に置いたままにすると、他の入力デバイスを使用するとき、ポインタの位置決めができなくなることがあります。
コンピュータに別のタブレットが接続されているとき、ポインタが不規則に動いたり、画面上で跳び回ったりする。	別のタブレットを本機に近づけすぎると、ポインタの位置決めができなくなることがあります。この現象が起こったら、本機と別のタブレットを離してください。

Windows での問題

タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。	「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、ご使用中の設定を削除します。 起動中のソフトウェアをすべて閉じます。 Windows 8 の場合：Windows 8 の「スタート」画面から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」（タイル）をクリックします。Windows 8 のクラシックデスクトップを使用している場合は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面にアクセスしてください。 Windows 7、Vista、XP の場合：「スタート」アイコンをクリックし、「（すべての）プログラム」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。 • 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。 • 以下の手順でタブレットの設定を削除します。 シングルユーザの場合：「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「ログインユーザの設定ファイル」の「削除」をクリックして、現在のユーザの設定を削除します。 マルチユーザの場合：「全てのユーザの設定ファイル」の「削除」をクリックしてマルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定を削除するには、管理者権限が必要です。実行中のタブレット対応ソフトウェアがあれば再起動します。 「ログインユーザの設定ファイル」の「復元 ...」をクリックして、バックアップしたタブレット設定を復元できます。 設定ファイルのバックアップと復元については、「タブレット設定ファイルの管理」をご覧ください。

Macintosh での問題

コンピュータの起動時、タブレットドライバがロードできなかった、またはタブレットの設定がまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。	起動時に、本機が認識されませんでした。USB ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また本機のランプが点灯していることを確認してください。問題が解決しない場合は、トラブルシューティングをご覧ください。 「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択し、「システムプロファイラ」（10.8 の場合は「システム情報」）を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」から USB を選択します。ワコム USB タブレットが一覧表示されます。表示されない場合、本機の USB 接続を確認するか、本機を別の USB ポートに接続してみてください。 問題が解決されない場合は、ワコムサポートセンターにご連絡ください。テクニカルサポートを参照してください。
タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。	「ワコムタブレットユーティリティ」からご使用中の環境設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じ、「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコムタブレット」フォルダを開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。 • 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「ワコムタブレットユーティリティ」では、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」を選択します。次に、「バックアップ ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。 • 以下の手順でタブレット設定を削除します。 シングルユーザの場合：ユーティリティが起動したら「ログインユーザ」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。 マルチユーザの場合：ユーティリティが起動したら「全てのユーザ」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。 ユーティリティ内の「復元 ...」をクリックして、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」に対してバックアップしたタブレット設定を復元できます。 補足：「Wacom Tablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「Preferencepanes」フォルダから削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合、また「ワコムタブレットユーティリティ」を使用する場合にのみ削除します。 再度、ポインタの位置調整をします。

Ink が、本機で正しく動作しない。	Ink の設定ファイルに問題がある可能性があります。次のようにして、問題のある設定ファイルを削除します。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルは再作成されます。 1. 「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。 2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の設定ファイルを削除します。 • COM.APPLE.INK.FRAMEWORK.PLIST • COM.APPLE.INK.INKPAD.PLIST • COM.APPLE.INK.INKPAD.SKETCH 3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。 4. 本機と電子ペンを使って、Ink 機能をテストします。 この処理で Ink の問題が解決されず、サポートが必要な場合は、アップルコンピュータに連絡してください。Ink 用のソフトウェアに関して、弊社では一切のサポートを行っておりません。

テクニカルサポート

本機に問題がある場合は、初めに本書の本機のセットアップをご覧いただき、本機が正しくセットアップされていることを確認してください。次にトラブルシューティングをご覧ください。

ワコムのホームページの製品 FAQ（よくあるご質問と回答）もチェックしてください。また、ホームページのサポートまたはカスタマーケアからもサポートのリクエストが可能です。

インターネットに接続されている場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。ドライバのダウンロードを参照してください。

問題が解決されず、本機が正しく動作していないと思われる場合、ワコムサポートセンターにご連絡ください。

お電話によるサポートを受けられる場合、次の情報をご用意の上、本機およびコンピュータの近くからお電話ください。

- 本書
- 本機の機種名とシリアル番号（タブレット本体の背面をご覧ください）
- タブレットドライバのバージョン（タブレットドライバ CD をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」をクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したとき、使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか

ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新しています。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます。

米国、カナダ、中南米

ダウンロードページ：	http://www.wacom.com/support	ソフトウェア更新

欧州、中東、アフリカ

ダウンロードページ：	http://www.wacom.eu/downloads	ソフトウェア更新

日本

ダウンロードページ：	http://tablet.wacom.co.jp/download	ソフトウェア更新（日本語）

アジア太平洋（英語）

ダウンロードページ：	http://www.wacom.asia	ソフトウェア更新（英語）

中国

ダウンロードページ：	http://www.wacom.com.cn	ソフトウェア更新（簡体字中国語）

韓国

ダウンロードページ：	http://www.wacom.asia/kr	ソフトウェア更新（韓国語）

台湾

ダウンロードページ：	http://www.wacom.asia.tw	ソフトウェア更新（繁体字中国語）

付録

この章では本機のお手入れのしかた、タブレットドライバのアンインストール方法、本機で使用するその他の Windows 設定、パーツ、アクセサリなどについて説明します。

本機のお手入れ

液晶画面と電子ペンは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、画面の表面を傷つけます。定期的に清掃していただくことで、液晶画面と電子ペンを長い期間ご利用いただくことができます。

本機と電子ペンは清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。室温が最適です。本機と電子ペンは分解可能な製品ではありません。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要：本機や電子ペンに液体をこぼさないように注意してください。液晶画面、ファンクションキー、サイドスイッチ、ペン先には、液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。これらを濡らさないように、特に注意してください。

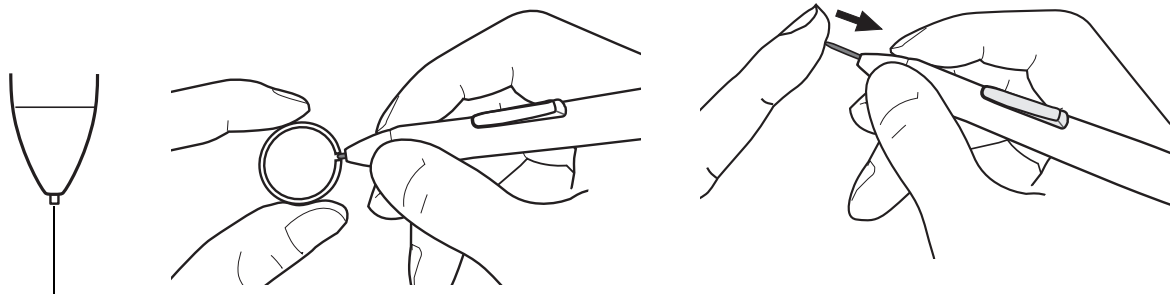
本機や電子ペンの清掃をするときは、柔らかい湿らせた布で拭いてください。水で薄めた刺激の少ないせっけんで布を湿らせて使うこともできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、本体を傷めますので使用しないでください。

液晶画面の清掃には帯電防止布または軽く湿らせた布をご使用ください。液晶画面を軽く押す程度にし、表面を濡らさないようにしてください。液晶画面が故障するおそれがありますので、洗剤は使用しないでください。このような故障はメーカーの保証の対象外となりますので注意ください。

ペン先を交換する

ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。過度な力を加えると、より早く磨耗します。本機の表面は、磨耗したペン先で傷つく恐れがありますので、ペン先が短くなりすぎたり、先端が鋭くなってきたら、付属の交換用の芯と交換してください。

古いペン先を付属の芯抜き、ピンセットなどで芯を挟んで、ペンからまっすぐに引き抜きます。

新しいペン芯を電子ペンにまっすぐにはめ込みます。止まるまでしっかりと押し込んでください。

1 mm 以下になったら、ペン先を交換します。

警告

お子様が替え芯やサイドスイッチを飲み込まないようにしてください。電子ペンを口の中に入れると、ペン先やサイドスイッチが抜け落ちてしまう可能性があります。

重要：電子ペンを使用していないときは、本機のペンホルダーに収納またはペンスタンドに立てるか、または机の上に横にして置いてください。ペンホルダーへのペンの挿入、または取り外しの際は、ペン先を傷つけないように注意してください。ペン先の感度を維持するため、ペン先が押された状態になるような方法で保管しないでください。

マウントアームに取り付けて使う

本機をマウントアームに取り付けて使いたいときは、市販の VESA（Video ElectronicsStandard Association）75mm 規格のマウントアームに取り付けて使います。

注意

本機をマウントアームに取り付ける場合は、必ずマウントアームに付属の取扱説明書の指示に従ってください。誤った取り付けかたをされますと、本機が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

次のように本機をマウントアームに取り付けます。

1. コンピュータの電源をオフにします。
2. すべてのケーブルを本機とコンピュータ、および追加ディスプレイから取り外します。
3. 液晶画面を保護するため、平らな台に柔らかい布を敷き、画面を下にして本機を置きます。
4. 本機に付属のネジでディスプレイをマウントアームにしっかりと取り付けます。VESA 取り付け穴の位置については 8 ページの「本体裏面」を参照してください。

補足：アームやスタンドへの取り付けには付属のネジを使用することを強くお勧めしますが、その他の取り付けネジを使用する場合は本機の損傷や怪我などがないよう必ず付属ネジと同じ寸法のものを使用してください。

タブレットドライバのアンインストール

以下の手順に従って本機とタブレットドライバや DisplayLink ソフトウェアをシステムから削除することができます。

重要：システムからタブレットドライバを削除すると本機の機能は使用できなくなりますが、マウスとしては使用できます。

Windows 8 の場合：

1. Windosw 8 のスタート画面で左下隅を右クリックし、ポップアップメニューから「コントロールパネル」を選択します。Windows 8 のクラシックデスクトップを使用している場合は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面にアクセスしてください。
2. 「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「ワコムタブレット」を選択して「削除」をクリックします。
   - DisplayLink ドライバをアンインストールする場合は、「DisplayLink コアソフトウェア」を選択して「アンインストール」をクリックします。

Windows 7、Vista、XP の場合：

1. 「スタート」をクリックして「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」をクリックします。
3. 「ワコムタブレット」を選択して「削除」をクリックします。
   - DisplayLink のプログラムをアンインストールする場合は、「プログラムの追加と削除」をクリックして「DisplayLink Core Software」を選択し、「削除」をクリックします。

補足：アンインストールを有効にするにはコンピュータを再起動しなければならない場合があります。

Macintosh の場合：

1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
   - DisplayLink のプログラムを削除する場合は、「アプリケーション」を選択して「DisplayLink」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックし、「タブレットドライバ：削除」を選択して、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
   - DisplayLink のプログラムを削除する場合は、「DisplayLink ソフトウェアアンインストーラ」アイコンをダブルクリックして「アンインストール」をクリックします。
3. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。

補足：アンインストールを有効にするにはコンピュータを再起動しなければならない場合があります。

タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザまたはマルチユーザのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

起動中のソフトウェアをすべて閉じます。

Windows 8 の場合：Windows 8 の「スタート」画面から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」（タイル）をクリックします。Windows 8 のクラシックデスクトップを使用している場合は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面にアクセスしてください。

Windows 7、Vista、XP の場合：

1. 「スタート」アイコンをクリックして「（すべての）プログラム」を選択します。
2. 「ワコム」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択し、次のようにすべての Windows 設定を行います。

- ログインユーザの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザの設定ファイルを削除するには、「全てのユーザの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザの設定ファイル」から「バックアップ ...」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザの設定ファイル」から「復元 ...」をクリックします。

表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Macintosh の場合：

1. 「アプリケーション」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

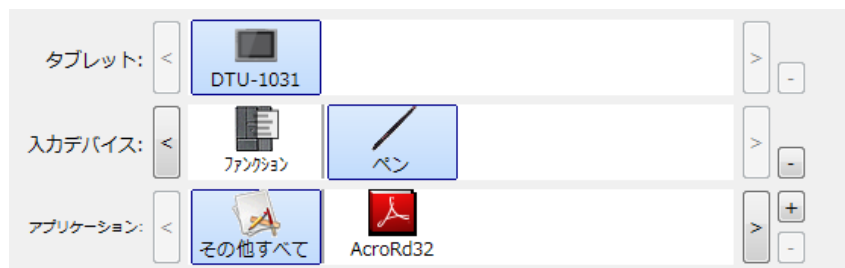
- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」のいずれかを選択してから、「削除」ボタンをクリックします。
  続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」のいずれかを選択してから、「バックアップ ...」ボタンをクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」のいずれかを選択してから、「復元 ...」ボタンをクリックします。

表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

複数タブレットの設置

「タブレット」リストには、システムで検出された、サポートされているタブレットのアイコンが表示されます。設定を変更するタブレットをここから選択します。

電子ペンとソフトウェアの設定をカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートしているタブレットがコンピュータに接続されていないときは起動しません。
- 接続しているタブレットの設定を閲覧または変更することができます。

新しいタブレットを追加する場合は、タブレットをコンピュータに接続します。システムは USB ポートに接続されたタブレットを検索します。新しいタブレットが検出されると、自動的に初期化され、「タブレット」リストにそのペンタブレットのアイコンを表示します。

ドライバから複数あるタブレットのうちの 1 つを削除するには、コントロールパネルで、削除するタブレットのアイコンを選択し、「タブレット」リストの隣の [–] ボタンをクリックします。

- サポートされているタブレットがコンピュータに接続されていないときは、「タブレット」リストから削除することはできません。
- タブレットをドライバに再度追加する前に、コンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

Windows でのペンおよびデジタルインク機能

Microsoft Windows 8、Windows 7 および Windows Vista はペン入力 * に対応しています。Windows 8、Windows 7 および Windows Vista が稼働するコンピュータと本機を組み合わせることで、素早く直観的な作業のために用意された手書き認識などのデジタルインクオプションを使用してペン入力機能を最大限に活用することができます。

- 手書きメモ帳機能 Windows 8 および Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。ペン、マーカー、ハイライトツールなど便利なデジタル機能を備え、Windows Journal の強力な検索エンジンでは手書きの内容も検索することができます。
- 手書き文字認識機能 Windows の「手書き文字認識機能」は、タブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能です。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。
- ジェスチャー機能 タブレット上でペンを動かすだけで、コンピュータ操作が可能です。また、ナビゲーション、編集などペンの動きにショートカットなどを設定できます。カスタマイズする場合は、「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの「フリック」タブを選びます。
- Office デジタルインク機能 Windows 8、Windows 7、Vista 上の Microsoft Office では、強化されたデジタルマークアップやデジタルインク機能が使用できます。各ソフトウェアの「校閲」タブに、これらツールのインク機能が表示されます。また、各ソフトウェアの画面上部に表示されるクイックアクセスツールバーに特定のデジタルインク機能を追加すれば使用しやすくなります。

補足：ワコムタブレットドライバでは、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista での描画性能改善のために、下記の次善策をとっています。

- 性能改善のため、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、Photoshop など一部のグラフィックソフトでは無効になります。
- Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」の両方の機能を無効にして、Windows Journal や他のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。

* デジタルインク機能は、Windows Starter および Home Basic、Windows Vista Home Basic を除く Windows 8、Windows 7、Windows Vista の全エディションでサポートされています。

Windows Tablet PC 入力パネルについて

Windows 8、Windows 7 または Vista の入力パネルでは、電子ペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力するかを設定できます。以下のいずれかの方法で入力パネルを起動できます。

- 画面のポインタがテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルのカスタマイズは以下の手順で行います。

1. 初めに、入力パネルを開いて、メニューバーの「ツール」をクリックします。
2. 「オプション」を選択して、「入力パネルオプション」ダイアログボックスを開きます。
3. 作業しやすいように、入力パネルの設定をカスタマイズします。

Microsoft Windows および Office については、システムおよび Microsoft Office に付属の資料をご覧ください。Microsoft の Windows トレーニングツールも活用してください。

製品仕様

本機の詳細および Microsoft Windows において様々なペンやデジタルインク機能を活用する方法については、ワコムのホームページをご覧ください。

米国、カナダ、中南米	http://www.wacom.com/products
欧州、中東、アフリカ	http://www.wacom.eu
日本	http://tablet.wacom.co.jp
アジア太平洋（英語）	http://www.wacom.asia
中国（簡体字中国語）	http://www.wacom.com.cn
韓国	http://www.wacom.asia/kr
台湾	http://www.wacom.asia/tw
タイ	http://www.wacom.asia/th

オプション品の注文

オプション品の情報はワコムホームページに掲載しております。
http://wacom.jp/

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。
http://store.wacom.jp/

サポート窓口について

本製品についてのお問い合わせは、以下のワコムサポートセンターまたはサポートホームページで承ります。消耗品などのご購入には、ワコムストアをご利用ください。

<u>サポート窓口のご案内</u>

インターネット FAQ http://wacom.jp/jp/customercare/	皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてワコムのホームページに掲載しております。ぜひ、ご活用ください。左のホームページからアクセスし、「よくあるご質問：FAQ」を選択してください。 インターネット FAQ より解決策が得られない場合、ホームページ上のサポートセンターへのお問い合わせフォームをご利用ください。
FAX によるサポート 03-5337-6514	タブレットやペンの操作についてのご質問、動作不良についてのご相談に FAX でお答えします。FAX でのお問い合わせ、修理のご依頼は、ユーザーズガイド（電子マニュアル）の「お問い合わせ／修理依頼」用紙をご利用ください。 注意： FAX でいただいたお問い合わせに関しては、弊社営業時間内に回答いたします。お問い合わせの内容によっては、ご返答に数日かかることがありますので、ご了承ください。
電話によるサポート ナビダイヤル 0570-05-6000	タブレットやペンの操作についてのご質問、動作不良についてのご相談に電話でお答えします。 受付時間：平日 9:00 ～ 20:00　土曜日 10:00 ～ 17:00 （日曜、祝日、および年末年始など弊社指定休日を除く） ユーザーズガイド（電子マニュアル）の「お問い合わせ／修理依頼」用紙の各項目をご確認のうえ、お電話をいただきますと、状況を把握しやすくなり、より早く問題解決のお手伝いができます。 ナビダイヤルについて： ナビダイヤルは、NTT コミュニケーションズ株式会社のサービスです。ダイヤル Q2 などの有料サービスではありません。 この番号におかけいただいた場合は、電話接続前に通話料金の概算をお知らせするメッセージが流れ、電話料金がいくらかかるか事前にお知らせいたします。 IP 電話および PHS からはご利用いただけません。また NTT 以外の電話会社をお使いの場合は、ナビダイヤルをご利用できないことがあります。下記の番号をご利用ください。 ⇒ TEL03-5337-6701

用語

操作エリア：電子ペンが検出されるタブレットの描画領域。

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに入力デバイスと本機の設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。
特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

縦横比：タブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離：ペン先でダブルクリックするときに、2 回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

ダブルクリック速度：ペン先でダブルクリックするときに、1 回目と 2 回目のクリック間で許容される時間間隔を表します。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版で、デジタルノートの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。様々なペン、マーカー、ハイライトツールが含まれます。また、手書きのコンテンツも検索できます。

修飾キー：Windows では［Shift］、［Alt］、［Ctrl］キー、Macintosh では、［shift］、［control］、［command］、［option］キーの修飾キーがあります。ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチに修飾キーを対応するようにカスタマイズできます。

マウスの加速：ペンがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。ペン先をタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。これは相対的な位置決めです。ペンモードもご覧ください。

マウス速度：ペンがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節できます。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。電子ペンをタブレット上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべてのペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置を決められます。マウスモードもご覧ください。

ピクセル：ディスプレイ画面上の最小の表示単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先の特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、ペン、ブラシの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応ソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

読取可能高さ：ペン先が検出されるタブレットの操作エリアからの高さ。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、スイッチに機能を割り当てる必要があります。

画面のポインタ：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

サイドスイッチ：製品の各種機能の実行に使用できるペンの側面にあるスイッチまたはボタン。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、電子ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェース規格。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Wintab：タブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェース規格。タブレットは、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。

Wacom international offices

WACOM TECHNOLOGY CORPORATION

1311 SE Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone: +1.360.896.9833
Fax: +1.360.896.9724

WACOM EUROPE GMBH

Europark Fichtenhain A9
47807 Krefeld
Germany
Telephone: +49.(0)2151.3614.0
Fax: +49.(0)2151.3614.111

株式会社ワコム
タブレット営業本部

〒 160-6131
東京都新宿区西新宿 8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー 31 階
Japan
URL：http://wacom.jp/

WACOM CO., LTD.
ASIA PACIFIC MARKETING AND SALES DIVISION

Sumitomo Fudosan Shinjuku Grand Tower 31F
8-17-1 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku
Tokyo,160-6131
Japan
Telephone: +81.3.5337.6709
Fax: +81.3.5337.6514

WACOM CHINA CORPORATION

Unit 2807, 28th Floor, SK Tower
No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,
Beijing, 100022, China
Internet: http://www.wacom.asia/cn

WACOM KOREA CO., LTD.

25th Floor DMC iaan Sangam 2nd Complex, 1653
Sangam-dong, Mapo-gu, Seoul, Korea, 121-270

Telephone: +82.2.557.3894
Fax: +82.2.557.3895

WACOM AUSTRALIA PTY. LTD.

Unit 8, Stage 1 Cumberland Green
2-8 South Street Rydalmere
NSW 2116 Australia
Telephone: +61.2.9422.6700
Fax: +61.2.9420.2272

WACOM SINGAPORE PTE. LTD.

3 Bishan Place,
CPF Bishan Building #06-08
Singapore 579838
Telephone: +65.6258.8640
Fax: +65.6258.8697

WACOM TAIWAN INFORMATION CO., LTD.

9F-1, No.237 Songjiang Road
Zhongshan Dist.
Taipei 104 Taiwan
Telephone: +886.2.25161718
Fax: +886.2.25165100

WACOM INDIA PVT. LTD.

2nd Floor, Elegance Tower
District Centre, Mathura Road
New Delhi 110025, India
Telephone: +91.11.40601200
Fax: +91.11.4060123

索引

このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

◌ お問い合わせ
◌ 修理依頼

FAX 送付先 ：03-5337-6514

受付　No.

発信	年　　月　　日

お客さま				
	フリガナ		会社名（学校名）・所属部署	
	氏名			
	使用場所	会社（学校）・自宅	連絡先	会社（学校）・自宅
	住所	〒　※ 修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。 E-mail：		
	TEL	（　　）	FAX	（　　）

タブレット	型式	DTU-1031	シリアル番号		
	タブレットドライバ	バージョン：			
	購入年月日	年　　月　　日			
使用環境	使用コンピューター	メーカー：	機種名：		
			使用 OS	（バージョン：　）	
	使用ソフトウェア	（バージョン：　）			
	周辺機器など：種類	メーカー	機種名	接続ポート	
	他の USB 機器				
	USB ハブ				
	ディスプレイ				
	グラフィックボード				
	その他				
内容	現象発生日	年　　月　　日			
	現象発生頻度	常時・ときどき（システム起動時・使用中・その他：　）			

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。